

碧の園 令和7年度第1回地域連携推進会議 次第

令和7年11月26日(水)

碧の園 会議室

1. 開会あいさつ

2. 出席者紹介

3. 施設について、地域との連携について

- ① 碧の園に入居されている方の特性について
(碧の園 本間)
- ② 近隣からの苦情について
(碧の園 鈴木)
- ③ 地域行事について
(碧の園 鈴木)

4. 施設・サービスの透明性・質の確保について

- ① 利用者の日常生活の様子について
(碧の園 本間)
- ② BCP(業務継続計画)の策定状況について
(碧の園 出口)

5. 利用者の権利擁護について

- ① 虐待、事故。ヒヤリハットの報告について
(碧の園 犬飼)
- ② 支援者(職員)の様子について(職員数、内部研修・外部研修の取組など)
(碧の園 犬飼)

6. その他

7. 閉会あいさつ

【館内見学】

みどり その れいわ 7 ねん どだい 1 かい ち い き れん けい す い しん かい ぎ し だ い
碧 の 園 令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 次第

れいわ 7 ねん 1 1 がつ 2 6 にち すい
令和 7 年 11 月 26 日 (水)

みどり その かいぎ しつ
碧 の 園 会議室

1. かい かい
開会あいさつ

2. しゅつ せき しや しやう かい
出席者紹介

3. しせつ について、ちい き れん けい について
施設について、地域との連携について

① みどり その にゆうきよ されている かの とくせい について
碧 の 園 に入居されている方の特性について

(みどり その ほんま
碧 の 園 本間)

② きんりん からの くる じやう について
近隣からの苦情について

(みどり その すずき
碧 の 園 鈴木)

③ ちい き ざうじ について
地域行事について

(みどり その すずき
碧 の 園 鈴木)

4. しせつ ・ きーびす の とうめいせい ・ しつ かく じ について
施設・サービスの透明性・質の確保について

① りやうしや の にちじやう の様子について
利用者の日常生活の様子について

(みどり その ほんま
碧 の 園 本間)

② BCP（B C P業務継続計画）の策定状況について

（みどり碧の園 でぐち出口）

5. りようしや利用者の_{けんりようご}権利擁護について

① ぎやくたい虐待、じこ事故。ヒヤリハットの_{ほうこく}報告について

（みどり碧の園 いぬかい犬飼）

② しえんしや支援者（しよくいん職員）の様子について（しよくいんすう職員数、ないぶけんしゅう内部研修・がいぶけんしゅう外部研修の_{とりくみ}取組など）

（みどり碧の園 いぬかい犬飼）

6. _たその他

7. _{いかい}閉会あいさつ

【かんないけんがく館内見学】

第1回地域連携推進会議録

碧の園

年 月 日	曜日	時 間	記 録 者	園長	事務長	課長
令和7年 11 月 26 日	金	10:00～11:10	犬飼 えみこ			
議 題		内 容				
1. 開会あいさつ		(碧の園 施設長 鈴木) 本会議は、地域と施設が緊密に連携し、「誰もが安心して暮らせる地域社会」を築くために開催した。皆様の貴重なご意見を共有し、今後の障害福祉のあり方について意見交換を行う場としたい。連携強化を通じて、より質の高い支援を提供できるよう尽力したい。 会議の趣旨(目的) 本会議は、当施設が地域社会の一員として「地域共生社会」の実現を推進するための重要な場となる。主な目的は以下の4点となる。 利用者様と地域の方々との関係づくり: 地域の中での交流を深め、豊かな生活を送るための協力体制の構築。 地域の人への理解の促進: 施設の取り組みや利用者様の生活への相互理解を深める。 施設やサービスの透明性・質の確保: 率直な意見を伺い、サービスの質向上と透明性を高める。 利用者様の権利擁護の推進: 人権尊重の環境確保と、共に啓発・擁護活動を推進する。 参加者からの積極的なご意見と建設的なご提言を期待し、会議の実りある進行をお願いしたい。 参加者間の連携を深め、お互いの活動や役割を理解し、今後の地域連携の第一歩としたい。				
2. 出席者紹介 (別紙参照)		自己紹介として、氏名、所属、当会議へのご期待や、日頃のご活動とあわせて、「碧の園」や障害福祉に関するご意見、ご期待について自己紹介をお願いした。 (F 委員) 以前は 10 何人が散歩をしていたのを見ている。大きな声などもあまり気にならなかったが最近4～5人で静かになった。地域防災として碧の園駐車場に防災倉庫を配置している。 (I 委員) 保育士を30年あまりしていた。碧の園では短期間職員でその後、ボランティアに所属していた。個人がしたい生活はなかなかできない。一人一人気持ちの解放をどんな風に行っているのか最初から気になっていた。接するのが楽しみである。 (S 委員) 所要により欠席				

3. 施設について、地域との連携について	(伊東市社会福祉課 太田課長補佐) 生活保護・困窮者、を経て今年度より障害福祉担当。地域資源が少ないため、地域拠点についてもお願いしたい。福祉避難所についての打ち合わせも碧の園と進めている。 (伊東市社会福祉課 浄住主査) 区分認定で利用者の把握をしてきた。色々な特性がある。市として何か意見があれば話し合いたい。 ①碧の園に入居されている方の特性について (碧の園 サービス管理責任者 本間副主任) 知的・精神・身体障害の方達が入所。現在年齢が30才～74才で平均が50才位。20代で入所された方が現在 50 代になられている。 ②近隣からの苦情について (碧の園施設長 鈴木) ・児童と職員の声や草刈りの音についての苦情 ・ひだまりの送迎車の停車位置についての苦情 ・駐車場で子供が遊んでいて職員の車に傷を付けられた ・未成年による煙草の吸殻や燃えかすが以前あり、門と看板で対応 ・やまゆり園の事があり防犯カメラを設置し、夜間にひふみ周辺に集まる若者が減った 等、報告する。 (I 委員) 隣の団地に住んでいるためベランダから見える。昔、通報したことがある。内側からだけだと見えない部分があるため話し合いながらいけると良い。職員からの挨拶が少ない。散歩をしていても挨拶が無いので、職員から進んで近隣の方への挨拶を行ってほしい ③地域行事について (碧の園施設長 鈴木) 夏祭りなど以前は行っていたがコロナにかかりボランティアも呼べずプログラムも変えている。地域の人も来る事が無くなったが、祭典では獅子舞が来てくれたり、防災訓練の時は消防団の方も来てくれた。町内の防災訓練にも園の利用者様も参加。地域防災での消防団との交流については施設、建物の構造を把握する上でも有益なものとなっている。 (太田委員) 消防団に入っていたが、建物の把握や入所者を知っていた方がもしもの時違う。駿東の消防に代わり消防職員も道路や市内の詳細を詳しくわかっていない現状もある。また、市のスポーツ大会についてもインフルエンザ等も流行っているので、実施については来年希望を聞きたいと思う。 (F 委員)
-----------------------------	--

	地域では子供が少なくなり子供会も解散している。歩いている子供も少なくなっている。
4. 施設・サービスの透明性・質の確保について	①利用者様の日常生活について (碧の園 サービス管理責任者 本間副主任) 閉ざされた施設になってしまいがちだが、施設から地域へということで先日も県知協の施設部会へ参加した。作業内容・入浴・レクリエーション・個別外出・季節行事・選挙などの社会参加を行っている (浄住委員) 園としての透明性は何かありますか？ 保護者会・医療についての説明 ②BCP(業務継続計画)の設定状況について (碧の園 出口主任) マニュアル作成し、それに基づき物資の確認・記録・会議等行っている
5. 利用者様の権利擁護	①虐待、事故、ヒヤリハットの報告について (碧の園 犬飼主任) 虐待については無いが、言葉も虐待の一つであり、日ごろから気をつけている。事故に関しては今年度2/3経過し8件。接触事故1件・薬関係(誤投薬は無いが飲ませ忘れ、薬が落ちていた)3件。転倒(発作含む)4件 ②支援者(職員)の様子について (碧の園 犬飼主任) 職員数：総勢40名以上 内部研修については、最近では感染症関連を中心に消毒液会社の方も来園。講義も行って頂いている。 外部研修については、知識向上を目指す研修や、障害者の高齢化に関する研修等に参加。
6. その他	(入居者代表 M 委員より) 女子棟うるさいです。 (犬飼主任) 職員に周知し、なるべく静かに落ち着いた生活が送れるようにします
7. 施設見学	見学中、男子棟においては利用者と高齢の利用者が混在しており事故のリスクがある中で支援をしていることを説明 (F 委員より) トイレの改修工事の内容についての質問があり、回答させていただく。 (太田委員 浄住委員)

	トイレ前のカーテンレールについての質疑があり、利用者が外してしまうため撤去したことを説明した。併せて、プライバシーの配慮は行っていることについて説明した。
--	---